

2019年6月21日

頭の整理 補遺 9

竹濤軒

森友学園問題に関連して財務省が非開示と決定した行政文書について、総務省の情報公開審査会がその決定を違法と判断した。この際、関連資料は洗いざらい公開してスッキリさせて欲しいところである。

「森友文書、財務省の不開示は「違法」 総務省の審査会」

久保田一道、別宮潤一

『朝日新聞デジタル』2019年6月19日20時02

2019年6月21日閲覧

最近、さらなる消費税値上げを前に、森友問題に関して森永卓郎氏が以前示唆した仮説が気になっているところにこの記事が目に入った。その仮説は、私なりにかなり敷衍して言えば、消費税増税を慎重に考える安倍首相に財務省が恩を売るために、安倍首相に関係すると財務省が忖度した国有地売買に介入して値下げさせた、あるいは、安倍首相に不利になると財務省が勇み足で判断した文書を改竄したというものである。前者はもう無理があるように思うが、後者はどうか。国有地売買の責任者である近畿財務局にとっては単なるローカルな土地売却問題であつたろうが、財務省本省がそれとは別の思惑を持っていたという可能性の再検討が必要ではないかとまた感じられてしまう。

勿論、これらは根拠のない空想に過ぎない。しかし、資料を隠されると、どうにも妄想が止まらない。いろいろ事情はあろうが、サッサと公開して欲しい。

なお、もし仮に財務省が邪な思惑を抱いていたとしても、それを短絡的に安倍首相の政治的判断と結びつけるべきではないことは言うまでもない。

また、もし仮に私の邪推が凶星だった場合、財務省としては何としてもそれを隠したいという気持ちになるのかもしれないが、その場合でも、ここは新しい明かき心の日本のために全うな決断をしてほしいと思う。